

2021年 2月 2号 7万円接待許さない! いのちを守る教育を! 平和憲法を護る!



## 早川三根夫教育長に関し監査請求!

「メディアコスモス館長兼図書館長の公募作業」を  
不必要な作業とした教育長行為を不当と訴える

### 教育長は公募費用154,580円を岐阜市へ払え!

2月18日、別处雅樹さん(平和憲法をも守る会代表)は岐阜市監査委員会に対し監査請求書を提出。内容は、昨年「広報ぎふ」にも募集掲載された「みんなの森 ぎふメディアコスモス館長兼岐阜市立図書館長の公募作業」で「合格者なし」と教育長が3月発表。

「合格者なし」発表後、異例の「総合プロデューサー選考委員会設置要領」を急遽決裁し吉成氏だけの採用試験を4月実行。前職・吉成氏が現在も「プロデューサー」と表札は替わったが、メディアコスモスの同じ机で仕事を。3月「合格者なし」4月「優秀なので採用」の経過も不思議な行為。だが、3月の公募作業で税金の無駄使いをした事は確か。

無計画な公募作業は公募費用浪費、公募作業への市民信頼の失墜、異例の選考委員会設置要領決裁、選考行為など行政を混乱させた。として、別处さんは「教育長は公募費用154,580円を岐阜市へ払え」と監査請求されました。「請求の要旨」は下記。

#### 異例の吉成氏採用目的だけの採用委員会設置要領

令和2年4月29日岐阜新聞報道によれば、岐阜市は4月28日、任期満了に伴い令和2年3月末で退任した市立図書館の吉成信夫前館長(63歳・当時)を令和2年5月1日から、特定任期付き職員の「みんなの森メディアコスモス総合プロデューサー」として採用する、と発表した。同記事によれば、岐阜市は令和2年3月、組織再編に伴う館長兼図書館長の公募結果について「合格者がいなかった」と発表。令和2年4月1日付の人事異動で、図書館副館長が館長兼図書館長に就いていた。その後、岐阜市は吉成さんを総合プロデューサーの選考対象として内部の選考委員会で審査し、採用を決めた。市の担当者は採用理由について「これまでの手腕と実績を評価した」と話している。と、報道されている。

#### なぜか? 3月公募面接前に吉成氏は辞退

上記の報道以前、令和2年3月13日の中日新聞報道によれば、岐阜市教育委員会は令和2年3月12日、ぎふメディアコスモス(同市司町)と市立図書館のトップを兼ねる新館長を公募した結果、合格者がいなかったと発表した。吉成信夫館長は任期満了を迎える今月末(当時)で退任するという。

(うら面につづく)

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

公募には9人が応募。書類審査を経て3月1日に5人面接試験を受けたが、合格者はいなかった。市教委は「館長に最適な人材を見出せなかった」と説明している。(令和2年3月12日 岐阜市教育委員会発文 市議会議員各位あて)

### 監査に 事実関係書類を 11件提出

上記の時系列記録及び公募に要した費用は、別紙文書「みんなの森 ぎふメディアコスモス館長兼岐阜市立図書館」の公募及び「みんなの森 ぎふメディアコスモス総合プロデューサー」採用に係る時系列について(R2. 6. 12市民協働推進部)参照。

「合格者がいなかった」と発表される前に辞退された吉成信夫さんが、「ぎふメディアコスモス総合プロデューサー」に採用される経過は、「みんなの森 ぎふメディアコスモス総合プロデューサー」採用に係る時系列(R2. 8. 31人事課)参照。

### 年収1000万超の職員採用試験に、なぜか内部審査委員が不参加？

令和2年4月10日「ぎふメディアコスモス総合プロデューサー」採用の為だけの選考委員会設置要綱(別紙参照)が決裁され、決裁からわずか22日間で、吉成信夫さんの採用が決定されています。これらの一連の作業は、3月段階で教育委員会が「みんなの森 ぎふメディアコスモス館長兼市立図書館長」を公募採用していれば不必要な作業であった。

さらには、令和2年1月10日に岐阜市議会議員へ送付された文書「みんなの森ぎふメディアコスモス館長兼市立図書館長の公募について」(別紙参照)記載の審査委員の構成には、5名(外部審査委員3名、内部審査委員2名)と明記されている。合格者なしの結論を出した時は、内部審査委員が不参加と聞かすが、年収1036万4千円もの職員採用審査に内部審査委員不参加が事実であるなら職務怠慢も甚だしい。公募作業そのものへの市民の信頼を裏切る行為である。さらに、審査作業終了後にも外部審査委員の氏名を明らかにしない事は、審査内容への市民の信頼を失うものである。

公募に要した費用は、審査委員への謝金30,000円×3名分90,000円、審査委員への交通費(1名分)11,620円 職員の市外出張旅費(委員への審査説明等)2,960円の合計は、104,580円 さらに、広報ぎふ(135,000部・令和2年1月15日号)への公募広告料50,000円は、他の事業者の広告を掲載すれば岐阜市の収入となる金額であった。

「みんなの森ぎふメディアコスモス館長兼図書館長の公募について」広告掲載により広報ぎふの紙面が使用された。公募作業に関する審査に要する支出は、不必要であり不当な支出である。広報掲載で損失した費用は無計画な公募作業により損失を生じさせた。

さらには、教育委員会の無計画な公募作業は総合プロデューサー選考作業という二重の作業を現出させた。

## 求める措置

早川三根夫岐阜市教育長は、「みんなの森 ぎふメディアコスモス館長兼市立図書館長の公募について」支出した費用合計 154,580円 を岐阜市へ払え。



松原のりかず  
☎058-253-2500